

様式 2

教 科
美術

種 目
美術

発行者
開隆堂

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・題材は、学習指導要領に示されている A 表現の内容において、(1) (3) 及び (2) (3) の組み合わせで示されている。また、A 表現及び B 鑑賞を関連させた題材が各学年において示されている。各学年において、描く活動とつくる活動の題材がそれぞれに扱われている。 ・作品に作者の表現意図が多く示してあることで、生徒が制作にあたって、見通しをもったり、追求の参考にしたりできるように十分配慮されている。 ・基礎的な技法や知識など習得したい内容を枠や吹き出しを用いて示してある。また、制作の参考となる生徒作品が多く掲載されていることで、生徒が発想を膨らませやすいように十分配慮されている。 ・用具や技法などの資料が巻末に掲載されており、巻末資料などに促す言葉がページ下部に位置づいていることで、生徒が補充的に学習を進められるように配慮されている。 ・共同制作の題材を多く取り上げ、表現活動をもとにした交流や他者との関わりをもてるように配慮されている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の導入や鑑賞で活用できる大きな写真（原寸大や折り込み見開き）が掲載され、生徒が学習の意欲を喚起するように配慮されている。 ・題材の最後のページに振り返りの視点が観点別に示されていることで、生徒が題材ごとに振り返りができるように配慮されている。 ・スケッチが複数取り扱われていることで、生徒が家庭で作品の構想を練ったり、練習したりできるように配慮されている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年において美術館、博物館等の活用実践例が取り上げられており、生涯に渡って美術に親しむ心を育てる工夫が見られる。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年、第2・3学年の2冊構成である。文字や図版等は鮮明であり、生徒が見やすいように配慮されている。 ・目次は内容が分かるように色分けされている。また、各ページには目標と連動したマークがあり、生徒が使いやすいように十分配慮されている。
5 総 評	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの題材に対してのページの割り振りが多く、参考作品が多く掲載されていたり、表現技法の説明などが充実していたりしている。これにより、生徒が制作の見通しや作品のイメージをもてるように十分配慮されている。 ・参考作品に作者の思いや願いが多く記載されており、生徒が表現意図を理解したり、表現のよさに気づいたりできるように十分配慮がされている。